

平成30年度ウエザリング技術研究成果発表会開催のご案内

主 催 一般財団法人日本ウエザリングテストセンター

協 賛 一般社団法人日本塗料工業会, 日本プラスチック工業連盟,
一般社団法人日本防錆技術協会, 公益財団法人スガウエザリング技術振興財団

開 催 日 平成30年11月28日(水), 11月29日(木) 2日間

会 場 第1日(11月28日)メルパルク東京 東京都港区芝公園2-5-20 TEL (03)3433-7210
第2日(11月29日)銚子暴露試験場 千葉県銚子市新町1034-1 TEL (0479)23-8131

参加料 参加料は、請求書をお受け取り次第お支払いください。

	賛助会員	非会員
第1日(11月28日)のみ	2,500円	4,500円
第1,第2日(11月28日,11月29日) 2日間	3,500円	5,500円

注) 消費税, 第1日の昼食代込み。

振込先

三菱UFJ銀行	田町支店	普通預金 4000970
三井住友銀行	丸ノ内支店	当座預金 1015235
みずほ銀行	浜松町支店	普通預金 1185106

イッパンザイダンホウジンニホンウエザリングテストセンター
口座名：一般財団法人日本ウエザリングテストセンター

※ お振込手数料は貴社にてご負担ください。

参加申込 「平成30年度ウエザリング技術研究成果発表会参加申込書」に所要事項をご記入の上,
郵送, FAX 又はE-mail でお申し込みください。送付先 〒105-0011 東京都港区芝公園 1-1-11
一般財団法人日本ウエザリングテストセンター
TEL 03-3434-5528 FAX 03-3434-5529
E-mail : tokyo@jwtc.or.jp

平成30年度ウエザリング技術研究成果発表会テーマ・講師

11月28日（水）

午前の部 A会場

時 間	テ ー マ・講 師 (敬称略)
10:00 ～10:05	開会挨拶 <div style="text-align: right;">当財団 理事長 屋良 秀夫</div>
10:05 ～10:55	JIS法の抜本的改正とルール形成戦略 <div style="text-align: right;">経済産業省 産業技術環境局 国際標準課 統括基準認証推進官 黒田 浩司</div>
10:55 ～11:45	建築および防錆分野における高耐久性塗料の標準化について <div style="text-align: right;">芝浦工業大学名誉教授 本橋 健司</div>
11:45 ～12:45	昼食（A会場で昼食となります。）

午後の部 A会場（高分子材料，塗料）， B会場（金属材料）

時 間	A会場（高分子材料，塗料）	B会場（金属材料）
12:45 ～13:45	高分子材料の超促進耐候性評価に関する研究 <div style="text-align: right;">一般財団法人化学物質評価研究機構 飯塚 智則</div>	自動車用熱交換器の腐食と防食 <div style="text-align: right;">三菱アルミニウム株式会社 岩尾 祥平</div>
13:45 ～14:45	建築用シーリング材の劣化挙動とその対策 <div style="text-align: right;">横浜ゴム株式会社 木村 和資</div>	橋梁用低合金鋼の長期耐食性評価 <div style="text-align: right;">株式会社神戸製鋼所 湯瀬 文雄</div>
14:45 ～15:00	休憩	休憩
15:00 ～16:00	腐食した塗装鋼構造物の適切な塗替え施工方法の検討 <div style="text-align: right;">公益財団法人鉄道総合技術研究所 坂本 達朗</div>	駿河湾および沖ノ鳥島における長期暴露試験による耐久性評価 ー(国研)土木研究所, (一社)日本鉄鋼連盟による共同研究ー <div style="text-align: right;">一般社団法人日本鉄鋼連盟 原田 典佳</div>
16:00 ～17:00	防水材料の耐候性試験 屋外暴露15年目の物性変化 <div style="text-align: right;">清水建設株式会社 竹本 喜昭</div>	コンクリート内部環境と鉄筋腐食の測定 <div style="text-align: right;">国立研究開発法人物質・材料研究機構 西村 俊弥</div>

11月29日（木）

銚子暴露試験場見学会

時 間	テ ー マ・講 師 (敬称略)
13:00 ～15:45	銚子暴露試験場設備機器の説明及び見学 耐候性に関する質疑応答 <div style="text-align: right;">当財団 銚子暴露試験場 職員</div>

発表の概要

午前の部 A会場

JIS法の抜本的改正とルール形成戦略	経済産業省 産業技術環境局 国際標準課 統括基準認証推進官 黒田 浩司
建築および防錆分野における高耐久性塗料の標準化について	芝浦工業大学名誉教授 本橋 健司
<p>建築用途の高耐久性塗料はJIS K 5658:2010 (建築用耐候性上塗り塗料) において、防錆分野の高耐久性塗料はJIS K 5659:2008 (鋼構造用耐候性塗料) において、それぞれ標準化されている。これらの規格では、塗料は耐候性の良好なものから1級、2級、3級に区分されている。従来、ポリウレタン樹脂塗料やふっ素樹脂塗料のように個別樹脂ごとにJIS規格が制定されていたが、現在では前述のJIS規格等により統合化されて、性能規定化も進んでいる。本発表では、このような性能規定化の経緯と課題について解説する。</p>	

午後の部 A会場 (高分子材料, 塗料)

高分子材料の超促進耐候性評価に関する研究	一般財団法人化学物質評価研究機構 飯塚 智則
<p>近年、高分子材料の構造部材利用が増加し、並行して耐候性評価の需要も高まるなか、超促進型装置と屋外暴露の再現性を高めた装置に二極化される形で新技術が複数報告されている。従来から実屋外暴露と実験室光源を用いた促進暴露の相関については様々な議論がされてきたが、新技術を用いた研究例は少ない。本報では超促進型装置の一つである過酸化水素水噴霧装置で得られた知見を中心に最近の耐候性評価の動向について紹介する。</p>	
建築用シーリング材の劣化挙動とその対策	横浜ゴム株式会社 木村 和資
<p>建築用シーリング材 (不定形シーリング材) の種類と使い分け、劣化挙動とその対策技術等について概説する。まず、多くの種類があるなか、建物の構造、種類、規模に応じた使い分けを紹介し、次いで、建築用シーリング材の劣化には、耐候性といった表面劣化の他に、周辺部材へのケミカル汚染現象、塗料との相性、接着劣化といったものも多く含まれるので、それらの事例紹介、原因究明策や最近の環境対策等の技術動向を紹介する。</p>	
腐食した塗装鋼構造物の適切な塗替え施工方法の検討	公益財団法人鉄道総合技術研究所 坂本 達朗
<p>屋外の塗装鋼構造物では、種々の環境条件や塗装品質などによって局所的に腐食が進行する場合がある。このような塗装鋼構造物を長期間維持管理していくためには、都度実施される塗替え施工を適切に実施することが必須となる。本発表では、鋼鉄道橋を対象に、塗替え施工時における素地調整方法およびその施工管理方法の適正化を目的とした近年の検討結果について述べる。</p>	
防水材料の耐候性試験 屋外暴露15年目の物性変化	清水建設株式会社 竹本 喜昭
<p>日本建築学会防水工事運営委員会では、防水材料の長期耐久性評価試験方法小委員会において、各種防水材料の屋外暴露試験を2002年から継続して実施している。暴露地は、旭川 (寒冷地)、銚子 (温暖地)、宮古島 (亜熱帯地) の国内3か所であり、昨年2017年は屋外暴露15年目の試験体を各地から回収し、物性データを取得した。試験体は、3年目、7年目にも回収してデータを蓄積しており、今回のデータと合わせた経年変化を検討したので報告する。</p>	

午後の部 B会場 (金属材料)

自動車用熱交換器の腐食と防食	三菱アルミニウム株式会社 岩尾 祥平
<p>自動車用熱交換器には、軽量化による燃費向上や小型化による省スペース化のため、アルミニウム製熱交換器が広く使用されている。熱交換器の晒される腐食環境として、外面側では融雪剤などの塩害環境、内面側ではラジエータ等におけるエンジン冷却水の環境などが挙げられる。これら自動車用熱交換器の腐食挙動および犠牲陽極効果を利用した防食法などについて、最新の技術動向を交えながら報告する。</p>	
橋梁用低合金鋼の長期耐食性評価	株式会社神戸製鋼所 湯瀬 文雄
<p>近年、鋼橋においては初期建設コストに加えて維持管理コストの軽減にも配慮した「ライフサイクルコスト (LCC) の低減」が重要課題となっている。鋼橋のLCC低減に寄与しうる厚鋼板として、生成さびの観点から少量の合金を添加した耐食鋼を開発した。本報告では、これらの新鋼材の特徴や耐食性評価結果について紹介する。</p>	
駿河湾および沖ノ鳥島における長期暴露試験による耐久性評価 - (国研) 土木研究所, (一社) 日本鉄鋼連盟による共同研究 -	一般社団法人日本鉄鋼連盟 原田 典佳
<p>1982年より建設省土木研究所 (当時) と鋼材倶楽部 (当時) 海洋防食・耐久性研究会とが共同で、沖ノ鳥島および駿河湾の腐食環境が異なる2か所の海洋技術総合研究施設において、各種建設材料の長期暴露試験を実施し、その耐久性を評価してきた。沖ノ鳥島では19.5年間の海上大気暴露、駿河湾では24年間の海上大気暴露及び30年間の飛沫・干満帯暴露を実施・調査したので、各暴露試験結果について報告する。</p>	
コンクリート内部環境と鉄筋腐食の測定	国立研究開発法人物質・材料研究機構 西村 俊弥
<p>電気化学センサーを用いて、コンクリート内部環境として塩分量やpHを測定し、鉄筋腐食との関係を明らかにした。まず、ラボにおいて基礎技術を確認し、JWTC試験場に暴露した鉄筋コンクリート試験体について検討した。さらに、コンクリート内部環境について、その場測定やモニタリング技術を実橋において適用した。</p>	

参加料 ※ 参加料は、請求書をお受け取り次第お支払いください。

	賛助会員	非会員
第1日(11月28日)のみ	2,500円	4,500円
第1, 第2日(11月28日, 11月29日)2日間	3,500円	5,500円

注) 消費税, 第1日の昼食代込み。

参加料の振込先, 口座名

振込先

三菱UFJ銀行	田町支店	普通預金 4000970
三井住友銀行	丸の内支店	当座預金 1015235
みずほ銀行	浜松町支店	普通預金 1185106

イッパンザイダンホウジンニホンウエザリングテストセンター

口座名：一般財団法人日本ウエザリングテストセンター

※ お振込手数料は貴社にてご負担ください。

(参加申込書は郵送, FAX 又は E-mail のいずれかの方法でご提出ください。)

- 留意事項**
1. 参加申込締切日は、11月18日迄とし、定員は100名とします。
 2. 第2日(11月29日)の参加定員は30名とします。交通の詳細は、参加証と一緒にご案内いたします。
 3. 参加証・請求書は、正規受付け後、参加申込者宛に送付いたします。
 4. テキストは、第1日(11月28日)の会場で受付け時に参加証と照合の上、お渡しいたします。
 5. 正規受付け後のキャンセルは致しかねますので、あらかじめご了承ください。
万が一参加されない場合には、後日テキストを郵送いたします。

発表会に関するお問い合わせ

一般財団法人日本ウエザリングテストセンター 〒105-0011 東京都港区芝公園1-1-11
TEL : 03-3434-5528 FAX : 03-3434-5529
E-mail : tokyo@jwtc.or.jp

..... 参加申込書

平成30年度ウエザリング技術研究成果発表会参加申込書							
申込内容	事業所	住所	〒				
		名称	電話 () -				
	氏名	フリガナ					
		所属					
参加日, 会場に○をして下さい。	第1日のみ		参加者	名	銀行振込	銀行	支店
	第1, 第2日 2日間		参加者	名	振込日	月	日
	第1日目 午後の部	A会場 (高分子材料 , 塗料)		事務局記入欄		No.	
		B会場 (金属材料)					

※ 2名以上参加される場合は、人数分の氏名をご記入し、書類送付先の担当者にご記入ください。